

小牧市民病院の緩和ケア



小牧市民病院
緩和ケアセンター

小牧市民病院の緩和ケア

目 次

第1章 緩和ケアとは？

P4 緩和ケアとは

P5 緩和ケアの内容・開始時期

P6 緩和ケアを行う場所

第2章 小牧市民病院の緩和ケア

P9 緩和ケア外来

P10 緩和ケアチーム

自宅で緩和ケアを受けるには？

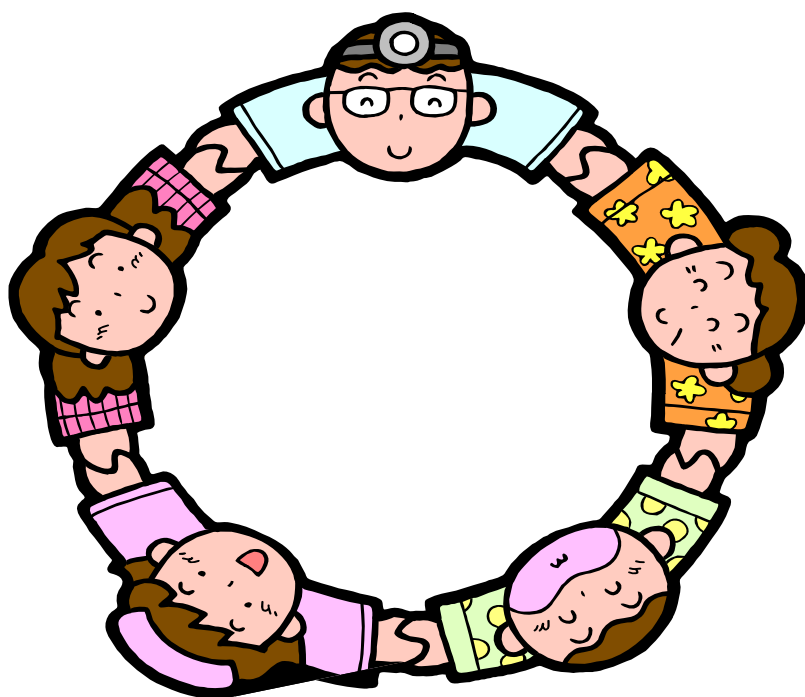
P11 緩和ケア病棟

P12 緩和ケア病棟入棟面談

P14 緩和ケア病棟についてのQ&A

P18 緩和ケア病棟施設案内

第1章 緩和ケアとは



1. 緩和ケアとは

緩和ケアとは、病気の治療の全経過を通して認められる身体や心のさまざまな苦痛を和らげ、患者さんやご家族にとって可能な限り良好な生活の質(Quality of Life)を実現させるために病状のどの時期においても行われる医療です。

病気によりおきる患者さんやご家族のからだのつらさ気持ちのつらさ、生活面でのつらさといった様々なつらさ（苦痛）をやわらげるために、医師・看護師・薬剤師・心理士・ソーシャルワーカー・栄養士・ボランティアなど多くのスタッフが協力して行う取り組みです。

**緩和ケアは、病気を抱えた患者さんにご家族が
「自分らしく生活していく」ことを支援します**



2. 緩和ケアの内容・開始時期

治療ができないから緩和ケアが始まるわけではありません。病気に立ち向かう体力と精神力を養うため、自分らしい生活をするために、心身の苦痛を取り除く緩和ケアが必要となります。

- ・痛みやつらい症状（息苦しさ、吐き気、だるさ、眠れない不安など）が少しでもやわらぐように支援していきます。
- ・緩和ケアを受ける時期は、早すぎることも、遅すぎることもありません。つらい症状があれば、抗がん剤治療中や手術前後であってもうけられます。
- ・痛みや息苦しさなどのつらい症状を我慢していると、食欲がなくなったり、気持ちが落ち込んだり、治療にも悪影響を与えてしまうこともあります。

どんなことでも「つらい」と思ったら、積極的に医療者へお伝えください。

- ・つらさを和らげるための治療は、飲み薬や注射、点滴を使つての治療や、痛みを和らげるための、放射線治療だけではありません。
- ・心理士は、患者さんだけでなく家族の方の気持ちのつらさに対する心理的な支援を行います。
- ・またボランティアスタッフがアロマセラピーなどを提供することもあります。
- ・日常生活における社会的な問題は、ソーシャルワーカーが相談窓口となり支援します。



3. 緩和ケアを行う場所

- なかなかとれないつらい症状や、難しい問題（気持ちや経済的な問題など）には、緩和ケアに関する専門的な知識と経験を有するスタッフが、それまで治療やケアを担当してきたスタッフとともに対応します。
- 緩和ケアの専門スタッフ（緩和ケア科医師、認定看護師、薬剤師等）による緩和ケアは、外来、一般の病棟、緩和ケア病棟、自宅などすべての場所でうけることができます。





memo

第2章 小牧市民病院の緩和ケア



1. 緩和ケア外来

小牧市民病院では幅広く患者様やご家族を支援するために2013年2月に緩和ケア外来・緩和ケアチーム・緩和ケア病棟の組織を統合し、緩和ケアセンターを設置しました。緩和ケアセンターでは患者様やご家族のつらさを少しでも和らげるための支援を行います。

【緩和ケア外来受診方法】

○当院通院中の患者さん

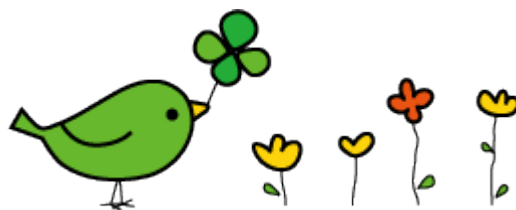
がんの治療を行っている主治医に「緩和ケア外来受診希望」とお伝えいただき、受診についてご相談ください。

診察日 月曜日から金曜日9:00～12:00 完全予約制

○他院通院中の患者さん

がんの治療を行っている主治医に「小牧市民病院緩和ケア外来受診希望」とお伝えいただき、受診についてご相談ください。緩和ケア外来の予約には主治医からの紹介状が必要になります。

診察日 毎週火曜日、水曜日 14:00～16:00 完全予約制



2. 緩和ケアチーム

- ・入院中の患者さんのからだのつらさ、気持ちのつらさ、経済的な問題など「生活していく上でのあらゆる問題」について緩和ケアチームが支援します。
 - ・緩和ケアチームには、緩和ケア科医師、がん性疼痛認定看護師、薬剤師、心理士、ソーシャルワーカー、栄養士、理学療法士、ボランティアなど多くのスタッフが在籍し、定期的にカンファレンスを行いながら支援方法を検討しています。
- 入院中の方
- ・主治医、病棟看護師に「緩和ケアチームに相談したい」とご希望をお伝えください。
 - ・緩和ケア病棟についての説明を聞きたい、又は緩和ケア病棟への入院を希望される方は、現在の主治医にご相談下さい。

主治医からの依頼により、緩和ケアチームが伺い、面談など行います。

3. 自宅で緩和ケアを受けるには

- ・緩和ケア外来でからだや気持ちのつらさを和らげるための治療を受けながら、自宅で過ごすことも可能です。
- ・通院が難しい場合には、地元のかかりつけ医の訪問診療（往診）を受けながら、必要時、緩和ケア病棟へ入院することも可能です。
- ・自宅での日常生活の援助（入浴や着替えなど）や病状管理のため、訪問介護サービスや訪問看護サービスの利用も可能です。
- ・在宅療養のご希望があれば、ソーシャルワーカーを中心として生活環境を整えるお手伝いをさせていただきます。

小牧市民病院緩和ケア病棟

緩和ケア病棟の理念

- ・ 緩和ケア病棟では、「患者さんやご家族が大切にしていること」を重視し、ひとりひとりの思いを尊重した支援を行います。
- ・ 患者さんにご家族の抱える「からだのつらさ」や「こころのつらさ」が和らぐように支援を行います。
- ・ 患者さんにご家族にとって大切な時間を少しでもご自宅で過ごせるよう、地域の医療機関と連携して支援を行います。

主な設備

病床数 14床（全室個室 有料個室6床）
家族室 2室 家族用シャワー室
介助浴室 1室 一般浴室 1室
コインランドリー
デイルーム（キッズルームあり）

緩和ケア病棟の入院費用

- ・ 緩和ケア病棟の入院費用は健康保険が適用されます。治療内容にかかわらず定額制（お薬や点滴等を含む）となっています。

【医療費】

3割負担の方：	1日	14,781円
2割負担の方：	1日	9,855円
1割負担の方：	1日	4,929円

* 上記の金額には食事代や有料個室使用時の費用（1日6480円）等は含まれていません。

* 医療費が一定の金額を越えるものについては、「高額療養費制度」などにより自己負担額の軽減が図られます。医療費の心配がございましたら「相談支援センター」のソーシャルワーカーにご相談ください。

緩和ケア病棟への入院を希望される方へ

緩和ケア病棟では緩和ケア科医師が主治医となり入院治療・ケアを行います。がんと闘う治療は行いません。がんの治療を行っている主治医と今後の治療方針について相談の上、緩和ケア病棟入棟面談外来の受診をご検討ください。

- 当院通院中の患者さん 受診日については主治医とご相談ください。
- 他院通院中の患者さん 緩和ケア病棟入棟面談の予約には主治医からの紹介状が必要になります。

【緩和ケア科：緩和ケア病棟入棟面談外来予約方法】

対象患者：他医療機関通院中で緩和ケア病棟入院又は転院希望の患者さん
(本人受診が難しい場合には家族のみでも受診可能です)

診察日 毎週火曜日、水曜日14:00～16:00 完全予約制

- ①小牧市民病院病診連携室へ「紹介状」・「緩和ケア病棟入棟面談情報提供書」を F A X します
- ②病診連携室より「紹介患者予約票」(医療機関用、患者用)を FAX します
- ③患者様またはご家族に「紹介患者予約票」・「紹介状」・検査結果(血液、画像)・「入棟面談情報提供書」を渡します
- ④緩和ケア外来を受診します(患者様もしくはご家族)
- ⑤後日、緩和ケア病棟入棟カンファレンスで入棟判定会議を行い入棟判定結果をFAX/郵送します(受診後1週間以内)

○小牧市民病院病診連携室(予約窓口) ○

平日 午前8時30分から午後5時

電話 0568-76-4131 FAX 0568-74-4516

*「緩和ケア病棟入棟面談情報提供書」は病院ホームページよりダウンロードしてご利用ください。ご希望があれば、病診連携室よりFAXさせていただきます。

緩和ケア病棟概要



- ・ 緩和ケア病棟は、院内併設型で14床全てが個室（有料個室6床）となっています。
- ・ 環境面の特徴としては、全室個室で、からだがつらくても過ごしやすいように、洗面、トイレの位置なども極力配慮した設計がなされています。
- ・ 病棟の共有設備として、病室の外でも面会や食事ができるように、デイルームが設けられています。
ここで病棟スタッフやボランティアと一緒に季節の行事（お花見会、七夕祭り、夏祭り、クリスマス会など）を楽しむこともできます。
食事をつくることのできるキッチンや、幼いお子さんも面会しやすいようにキッズルームも設けられています。
- ・ 講習会を受講した一般市民がボランティアとして病棟環境整備やイベント支援をしています。



緩和ケア病棟についてのQ&A

Q 「末期がんの人が入院するのですか？」

A：一般的には、抗がん剤や手術などの治療を行うことが困難であったり、そうした治療を希望しない患者さんがつらさを和らげるために緩和ケア病棟に入院されます。緩和ケア病棟に入院中であっても、体調がよければ自宅へ外泊されたり、また症状が安定された場合には退院し、外来通院をしながら、自宅療養をされる方もみえます。

Q 「病名を告知しなければいけませんか？」

A：緩和ケア病棟での入院生活をより充実したものにするため、基本的には患者さん本人が病名について理解されていることが望ましいです。高齢の方や病状により理解が難しい場合には、病名、病状についてご家族の理解があれば緩和ケア病棟へ入院していただくこともあります。

Q 「緩和ケア病棟での治療方針を教えてください」

A：緩和ケア病棟では、つらさ（苦痛）を和らげる緩和医療、緩和ケアを積極的に提供することで「その人らしく」過ごせるように支援を行います。抗がん剤などのがんと闘う治療は行いません。症状緩和を目的とした点滴、肺炎など感染症治療、胸水や腹水を抜く治療、輸血などを行います。（抗がん剤の使用以外は概ね一般病棟と同様の治療が行われます）

Q 「検査は定期的に行いますか？」

A：緩和ケア病棟では、定期的な血液検査やレントゲン検査などは基本的に行いません。状態に変化があり、検査を行うことで、患者さんの苦痛軽減のための治療方針を変更する可能性がある場合には、積極的に検査を行います。



Q 「免疫療法を受けるため他の医療機関を受診したいのですか？」

A：免疫療法については、緩和ケア病棟入院中に外出や外泊などで他の医療機関を受診して実施することは許可できません。外出や外泊で実施可能な状況であれば一旦退院し、自宅で過ごしながら、免疫療法を行ってください。
緩和ケア病棟内で行うことのできる民間療法（漢方や自然食品）については基本的にご自身の判断で行ってください。医療者は民間療法の実施のための援助は行いません（お薬を飲む手伝いなど）。
また、他の患者さんに影響のある場合や安全管理上問題がある場合には民間療法の中止をお願いする場合があります。

Q 「延命処置については？」

A：最期の瞬間に患者さんに負担を強いるような心臓マッサージや人工呼吸器 血圧だけを無理にあげるような薬剤投与などの延命処置は行いません。
またモニター（心電図など）については患者さんの束縛感それに伴う混乱を助長すること多いため、緩和ケア病棟では装着しません。

Q 「家族の付き添いは必要ですか？」

A：必ず付き添わないといけないということはありません。ただし、ご家族の付き添いがあった方が患者さんのつらさが和らぐ場合には、病棟スタッフから付き添いをお勧めすることもあります。緩和ケア病棟は全室個室で付き添いの方用の寝具の貸し出し（有料）も行っています。患者さんのご容態により複数の家族の方が付き添われる際には家族室もご利用頂くことができます（家族室の室料は無料）

Q 「一旦入院すると退院はできないのですか？」

A：患者さんの体調が安定していれば、外出や外泊は 可能です。また、一旦退院され、外来通院をしながら在宅療養をすることもできます。
退院後も、病状が悪化した際には再入院可能です。



Q 緩和ケア病棟は申し込めばすぐに利用できますか？

A：一般的に緩和ケア病棟はお部屋が空いていることが少ないです。
そのため、主治医を通じて申し込みをしていただいてから数週間～
1か月程度お待ちいただくことがあります。

- * 緩和ケア病棟への入院の順番については、患者さんの状態をみて判断するため、申し込みの順番通りにならないこともあります。
- * 緩和ケア病棟入院まで、一時的に他院での入院待機をお願いする場合があります。
- * 緩和ケア外来を通院中に緊急で緩和ケア病棟への入院が必要と判断された場合には、緊急入院となる場合もあります。
- * 体調が悪化したら緩和ケア病棟へ入院したいというご希望があれば、主治医を通じて早めに緩和ケア外来を受診することをお勧めします。
- * 緩和ケア外来の受診には全て主治医を通じての予約が必要となります。

Q 「緩和ケア病棟での過ごし方を教えてください」

A： 緩和ケア病棟では起床や就寝、家族や友人との面会など基本的に患者さんの生活スタイルに合わせるように配慮します。主治医の許可のもと、お酒を召し上がって頂くことも可能です。
全体的に一般の病棟のよりも制限はゆるやかになっています。
入院時に病棟看護師と相談しながら生活ペースを決めていきます。

Q 「面会時間について教えてください。ペットにもあわせたいのですが？」

A： 面会は24時間可能です（夜間は施錠されますがインターホンで対応します）
また、ペットの面会も可能です。
* ペット面会時間は9:00～21:00（可能であれば前日にシャンプーをお願いします）
ペットの管理は各自でお願いします。







病室のご案内



テレビ・冷蔵庫
(プリペイドカード式)
トイレ・ソファベッド

無料個室19.8㎡ (8室)
(室料 無料)



テレビ・冷蔵庫
ソファベッド
電話・トイレ

有料個室 24㎡ (6室)
(室料 1日6480円)



緩和ケア病棟の主な設備のご紹介





小牧市民病院での緩和ケアを含めた療養に関わるすべての相談は
「相談支援センター」が窓口になります。

[連絡先]

0568-76-4131（代）内線2105（相談支援センター）

月曜日～金曜日（祝日、年末年始は除く）

受付時間9:00～16:30